

施策項目3

新しい時代に必要となる資質・能力の育成（小・中学校）

施策の方向性 ～10年後を見据えて～

- 全国学力・学習状況調査の結果を系統的に分析し、学力向上に向けた教育活動の検証と改善に全ての教職員が一体となって組織的に取り組みます。
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進め、新しい時代に必要となる資質・能力を育成します。
- ICT等を活用し、発達の段階に応じて、全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ります。
- 規則正しい生活を送ることにより学習意欲の向上を図るため、子どもの望ましい生活習慣や学習習慣*の定着に向けた家庭・地域と連携した取組を促進します。

主な取組

- **教育課程の実施状況を評価してその改善を図る検証改善（PDCA）サイクルの充実**
 - ・ 各学校段階や学校段階間*において育成を目指す資質・能力を明確にし、小学校から高校までの12年間を見通した検証改善サイクルの確立を推進
 - ・ 各学校管理職のリーダーシップの下で展開される教育活動の検証と改善の充実
 - ・ 調査結果の分析に基づく研修会や指導主事*の指導助言等により、各学校が学力向上に向けた教育活動の検証と改善を組織的に実践
- **主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善**
 - ・ 指導方法や指導体制の工夫等の指導助言による全教員の指導力の向上
 - ・ 教員向けの研修会や各種資料提供を行うなど、全ての教科等における言語活動の充実
- **ICT環境を適切に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実**
 - ・ 個々の興味・関心・意欲等を踏まえて、きめ細かく指導・支援することなど、1人1台端末を活用した学習活動の充実
 - ・ 探究的な学習や体験活動を通じて子ども同士や多様な他者と協働しながら行う学びの促進
- **家庭・地域と連携した望ましい生活習慣、学習習慣の定着**
 - ・ 資料の配付や研修会の開催による子どもの生活習慣に対する保護者等の意識の向上
 - ・ 団体、企業等と連携した地域ぐるみの取組の促進
- **言葉を学び、感性を磨き、表現力を高める読書活動の推進**
 - ・ 学校における読書習慣確立に向けた全校一斉読書等の取組の強化
 - ・ 市町村立図書館や公民館等の施設とボランティア等の連携による子どもの読書に親しむ機会の推進

関連する主な SDGs の目標



○ コミュニケーション能力や主体性を育む体験活動の充実

- ・ 道立青少年体験活動支援施設等を核とした学校・地域・公立青少年教育施設等との連携強化

Topics

【学校段階間の連携・接続の推進】

児童生徒の発達の段階に応じた系統的な教育活動の充実を図るため、学校段階間の接続を意識した教育課程の編成・実施や指導方法の工夫・改善を図るとともに、各学校間の連携を促進します。

- ・ 幼稚園、認定こども園及び保育所の意見を踏まえたスタートカリキュラムを編成する小学校の取組を推進
- ・ 同一中学校区で教育目標を共有し、共通した取組を位置付けるなど、義務教育9年間を通じた教育課程の編成、実施、評価、改善（PDCA サイクル）の充実
- ・ 高校における、必要に応じた学び直しの視点を踏まえた教育課程の編成など中高の連携の充実



- ・ クラウドを活用した情報共有ネットワークの構築による学校間の一層の交流
- ・ 各学校で実施するテストの CBT*化による1人1台端末を活用した学力向上に向けた取組の促進

【推進指標】

指 標	現状値	目標値(R9)
どの程度、PDCA サイクルを確立しているかとの質問に対し、「よくしている」と回答した学校の割合	小 46.2%, 中 49.0% (R4)	94.0%
話し合う活動を通じ、自分の考えを深めることなどができていると回答した小学6年生、中学3年生の割合	小 80.3%, 中 78.0% (R4)	100%
小・中学校の国語、算数・数学の平均正答率が全国以上の教科数	1 教科 (R4)	4 教科
授業以外に、1日当たり1時間以上勉強すると回答した小学6年生、中学3年生の割合	小 56.6%, 中 63.6% (R4)	74.0%
家や図書館で、普段、1日10分以上読書をするると回答した小学6年生、中学3年生の割合	小 57.1%, 中 48.4% (R4)	73.0%
学校図書館図書標準を達成している学校の割合	小 42.5%, 中 40.6% (R3)	小 70.0%, 中 60.0%
近隣の小（中）学校と教育課程に関する共通の取組をよく行ったと回答した学校の割合	小 21.7%, 中 30.2% (R4)	61.0%
中学校と高校との円滑な接続の観点を踏まえた教育課程を編成している高校の割合	37.8% (R4)	70.0%



担当課 HP

●子どもの望ましい生活習慣や学習習慣

子どもの望ましい生活習慣は、毎日同じ時間に寝起きすることや毎日朝食を食べていること、家族で決めたルールに従ってゲーム等の時間を守るなどの規則正しい生活習慣のこと。学習習慣は、家で自分で計画を立てて勉強をすることや、発達の段階に応じて学校の授業以外に十分な学習時間を設けて勉強することなど、定着して欲しい家庭における学習習慣のこと。

●各学校段階や学校段階間

各学校段階は、小学校、中学校、高校のそれぞれの段階を示す。学校段階間は、小学校と中学校の9年間、中学校と高校の6年間を示す。

●指導主事

学校における教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項の指導に関する事務に従事する専門的教育職員のこと。

●CBT：Computer Based Testing

試験における工程（問題の配付、回答の入力、答案の回収、採点・集計）を、全てコンピュータ上で行うこと。